

二・二六事件とその時代

令和3年

10/16 土

第1講 13:30 ~ 15:00

1920年代—地域ファッショ運動の萌芽と青年将校の思い—

第2講 15:20 ~ 16:50

三月事件、満洲事変、十月事件、五・一五事件と青年将校運動

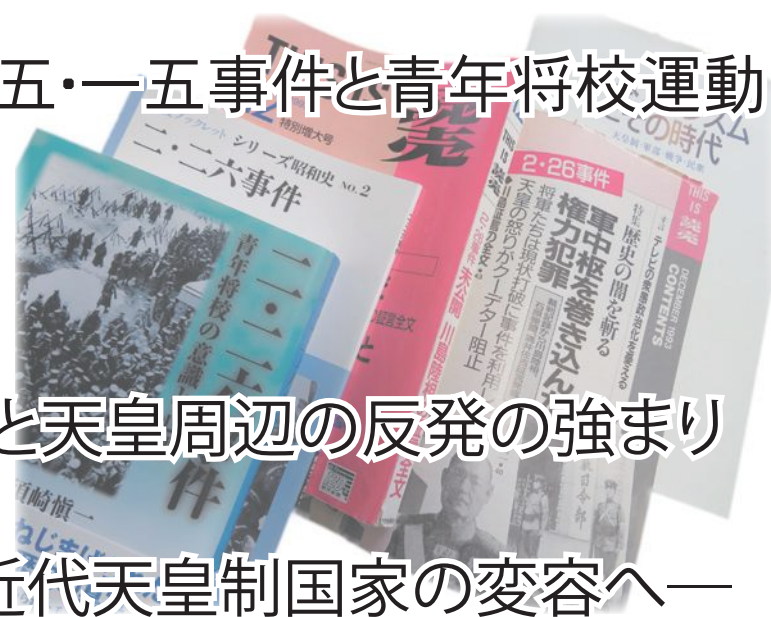
10/17 日

第3講 10:00 ~ 11:30

「上長を推進して維新へ」路線と天皇周辺の反発の強まり

第4講 13:00 ~ 14:30

二・二六事件の勃発と鎮圧—近代天皇制国家の変容へ—



☆飯田アカデミアは、歴史学における第一線の研究者に、最新の研究成果をわかりやすく紹介していただくものです。

講師：須崎 慎一さん（神戸大学名誉教授）

会場：上郷公民館 2階講堂

資料代：500円 ※高校生以下無料

受講方法：①会場での受講（定員40名）②ご自宅等のパソコンから受講
いずれも、**令和3年10月8日(金)**までにお電話でお申込みください。その際に受講方法等についてご案内させていただきます。※日曜日・月曜日・祝日は休所
※1 講義のみでもご参加いただけます

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱・咳などの症状のある方やマスクを着用されない方の会場での受講はご遠慮ください。また、今後の感染状況により、延期または中止をする場合がありますのであらかじめご了承ください。

二・二六事件とその時代

[講師より]

東京地検記録課で限定公開された「二・二六事件裁判記録」を精査し、2003年刊行した拙著『二・二六事件—青年将校の意識と心理—』（吉川弘文館）をもとに、天皇・天皇制のあり方が変容するきっかけとして二・二六事件を考えていこうとする試みです。北一輝の影響を受けた青年将校といった教科書的見解を否定し、出来るだけ一人一人の青年将校の思いを紹介しつつ、二・二六事件の全体像に迫っていきたい。とりわけ青年将校側に狙われた人々が、陸軍内の「統制派」と「皇道派」の「対立」の図式とは異なり、殺害されたのは渡辺錠太郎陸軍大将だけでした。それも陸相官邸に来てもらおうと行ったところ、渡辺から銃撃を受けたので殺害に及んだという事実は、この事件の構造を考える上で示唆に富んでいるのではないのでしょうか。

講師プロフィール

すぎき しんいち

須崎 慎一さん（神戸大学名誉教授）

1946年東京都出身。一橋大学大学院社会学研究科を経て、神戸大学教授などをつとめる。専攻は日本近代史。飯田下伊那をフィールドにした研究を行われ、多くの史料を発見・紹介している。

主要著書に、『日本ファシズムとその時代—天皇制・軍部・戦争・民衆—』（大月書店、1998年）、『二・二六事件』（岩波書店、1988年）などがある。